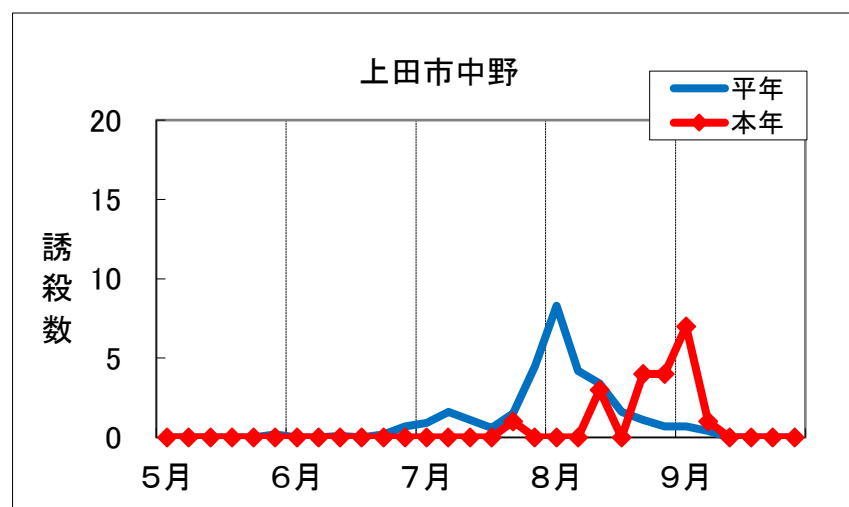
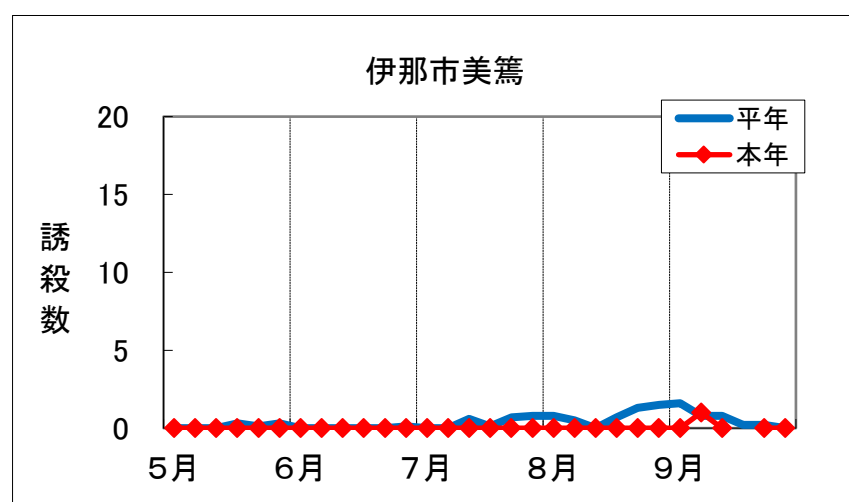


# 予察灯によるフタオビコヤガ(イネアオムシ)の誘殺消長 【令和5年・(2023年)】

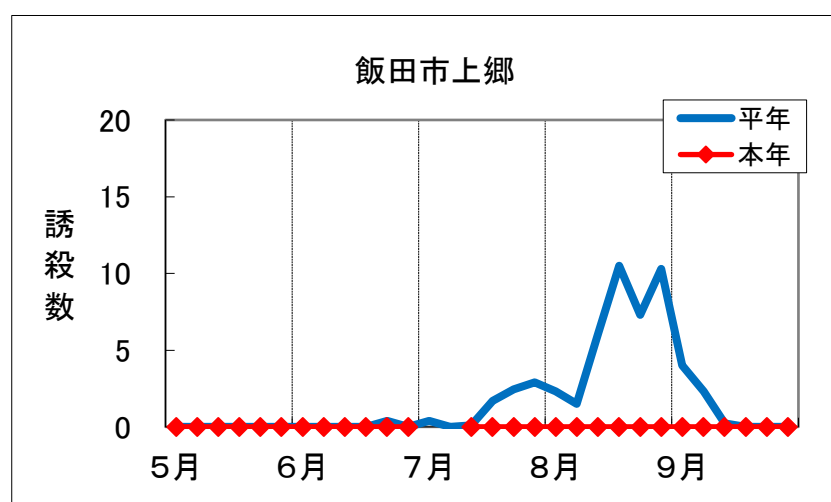


※平年:平成25年~令和4年(10年間)の平均

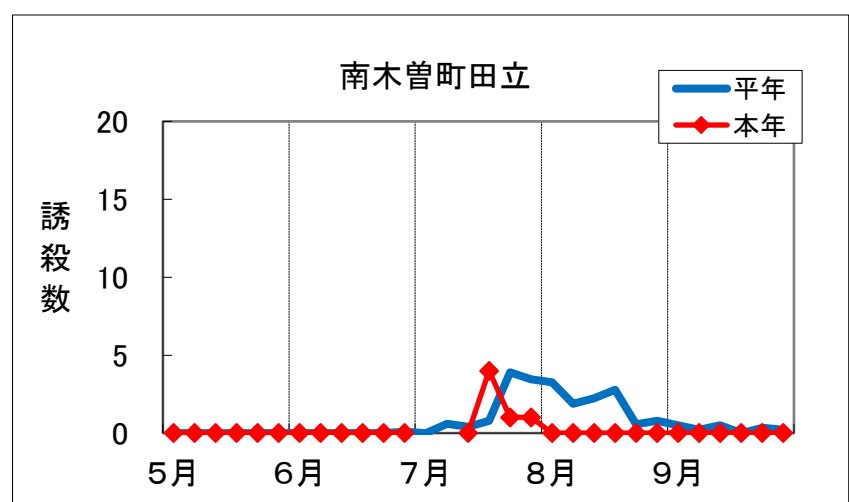
- ・上田市では、7月第5半旬に1頭初誘殺され、8月第3半旬以降、誘殺頭数が増加しました。9月第2半旬以降、減少しました。
- ・伊那市では、9月第2半旬に1頭初誘殺されました。9月第4半旬は電球切れのため欠調です。
- ・南木曾町では、7月第1、第2半旬は、電球切れによる欠調のため、グラフに数値は入っていませんが、第1半旬に初誘殺されました。その後、7月第4半旬~第6半旬にも誘殺されました。その後の誘殺はありませんでした。
- ・須坂市では、7月第4半旬に2頭初誘殺され、第5半旬にも3頭誘殺されました。また、8月第4半旬以降、半旬当たり1~2頭ペースで誘殺されました。9月第2半旬以降、減少しました。
- ・その他の地点では、誘殺はありませんでした。
- ・飯田市の7月第1半旬は、電球切れのため欠調です。



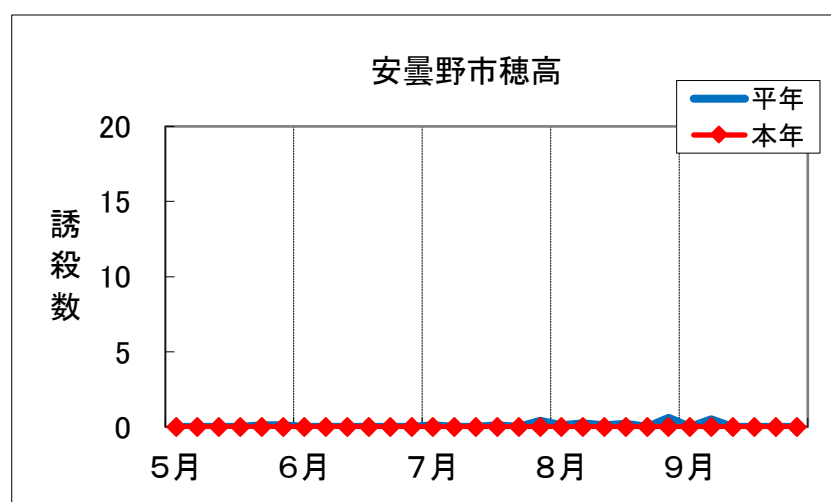
※平年:平成25年~令和4年(10年間)の平均



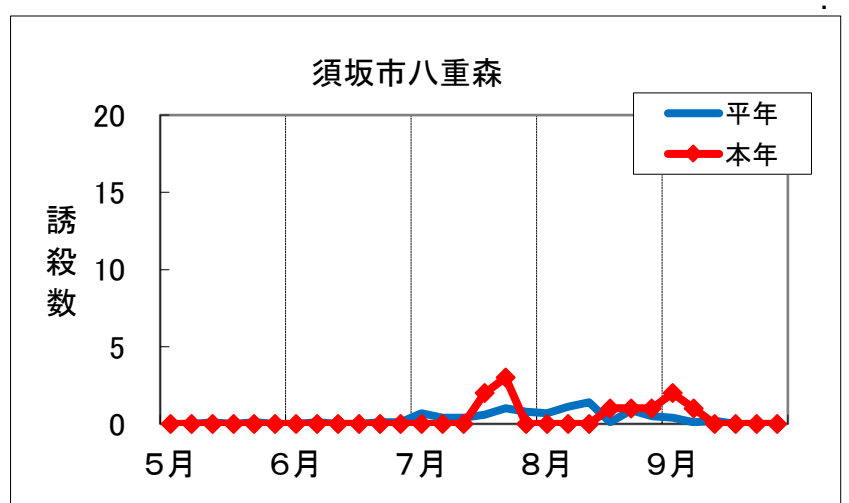
※平年:平成25年~令和4年(10年間)の平均



※平年:平成25年~令和4年(10年間)の平均



※平年:平成25年~令和4年(10年間)の平均



※平年:平成25年~令和4年(10年間)の平均

## (参考)

### 1 発生生態

本県におけるフタオビコヤガ(イネアオムシ)の発生は、年3回が一般的です。標高の高い地域や、低温の年に発生が多くなります。蛹で越冬し、5月下旬に第1回成虫(越冬世代)が発生します。第1世代幼虫は6月中下旬に発生し、イネの葉を葉縁から台形に食害します。

上のグラフは予察灯で捕獲された成虫数です。

### 2 防除時期

(1) 平年の第1世代幼虫の防除は6月中下旬頃、第2世代幼虫の防除は7月中旬頃、第3世代(越冬世代)幼虫の防除は8月上旬頃です。